

麴甘酒の継続的飲用における安全性と 明らかな便通改善効果を確認しました

八海醸造株式会社(本社:新潟県南魚沼市 / 代表取締役:南雲二郎)は、新潟薬科大学・新潟県農業総合研究所食品研究センターとの共同研究により麴甘酒を継続的に飲用することで健常成人において明らかな便通改善効果があることを確認しました。また、同志社大学大学院 生命医科学研究科 米井嘉一教授との研究から麴甘酒の過剰摂取において有害な事象はみられず、体重や血糖値、体脂肪等についても影響はなく、1日1本(118g)の飲用は特に安全性に問題がないことを確認いたしました。以上の研究成果を、それぞれ日本食品科学工学会第65回大会(東北大学 川内北キャンパス:8/22~24)及び第70回日本生物工学会大会(関西大学 千里山キャンパス:9/5~7)で発表いたしました。

1. 排便回数が比較的少ない健常成人への便通改善効果

これまで弊社は透析患者において麴甘酒の継続的飲用が便通改善に効果があることを報告してきました。今回、健常成人においても同様に明らかな便通改善効果を確認しました。排便回数の比較的少ない健常成人 28 名を 2 群に分け、麴甘酒及び乳酸発酵させた麴甘酒を毎朝 1 日 1 本 (118g) 飲用頂き、飲用前、飲用 1 週間後、飲用期間を終えた非飲用 1 週間後の排便回数 (回 / 週)、排便日数 (日 / 週)、便の形状や色、においについて評価しました。その結果、図 1 に示しますように飲用前に比べて麴甘酒及び乳酸発酵させた麴甘酒で週あたりの排便回数及び排便日数が増加傾向にありました。特に、麴甘酒については排便回数が有意に増加する結果となりました。本研究は、内閣府 地方創生推進交付金によって行われました。

2. 麴甘酒の過剰摂取による安全性評価

麴甘酒に含まれる成分とその機能性についての研究を進めていますが、麴甘酒の主成分はグルコース(ブドウ糖)のため、体重増加や血糖値への影響を懸念される声があります。そこで、弊社では麴甘酒を安心してお飲みいただくために安全性の研究も進めており、今回、過剰摂取試験を実施して安全性に問題がないことを確認しました。



事前検査により選抜した空腹時血糖が正常高値 (100 mg/dL 以上 110 mg/dL 未満) もしくは境界域 (110 mg/dL 以上 126 mg/dL 未満) の 20 歳以上 65 才以下の男女計 24 名に麴甘酒 118 g を 1 日あたり 3 本、4 週間連続飲用していただき、飲用前、飲用 2 週後、飲用 4 週後、飲用期間を終えた非飲用 2 週後の血圧 / 脈拍、体重 / 体脂肪率 / BMI、血液生化学的検査、尿一般検査、医師による問診から有害事象の判定を行いました。その結果、本試験に起因する有害な事象は一切認められませんでした。また、体重、体脂肪率、BMI について有意な変動は認められませんでした。糖代謝指標である血糖値・グリコアルブミン・HbA1c について、血糖値は飲用前の血糖値が高めの集団でしたが試験期間中に有意な変動は認められず、グリコアルブミンについては一過性に基準範囲内での軽微な増加が認められたのみでした。HbA1c は、飲用前と比較して飲用 4 週後で有意な増加 (5.40%→5.67% <+0.27%>) が認められたが、過剰摂取時における基準値 (※1) 内変動は許容できるものと判断されました。以上のことから麴甘酒の安全性については、特に問題はないとの結論に至りました。なお、血圧については図 2 に示しますように収縮期・拡張期のいずれにおいても血圧降下作用が認められました。

以上のように、透析患者での臨床事例に続き、健常成人においても同様に明らかな便通改善効果が認められました。また、麴甘酒の過剰摂取の安全性試験から弊社が推奨しております 1 日当たり 118g の飲用は、特に安全性に問題がないことが示されました (※2)。麴甘酒は、古くから愛飲されてきた日本の伝統飲料です。弊社は麴甘酒メーカーとして、今後も麴甘酒の健康機能や安全性の研究を進めてまいります。

発表演題

日本食品科学工学会第65回大会(東北大学 川内北キャンパス:8/22~24)

発表演題

1. 排便回数が比較的少ない健常成人の排便状況に及ぼす麴甘酒と乳酸菌発酵甘酒の影響

発表者 櫻井 美仁¹, 久保田 真敏¹, 井口 晃徳¹, 重松 亨¹, 山口 利男¹,

倉橋 敦², 小黒 芳史², 西脇 俊和³, 相原 浩太郎³, 佐藤 眞治¹

(¹新潟薬科大学, ²八海醸造株式会社, ³新潟農業総合研究所食品研究センター)

第70回日本生物工学会大会(関西大学 千里山キャンパス:9/5~7)

発表演題

1. 麴甘酒の過剰摂取による安全性評価

発表者 倉橋敦¹, 米井嘉一²

(¹八海醸造株式会社, ²同志社大学大学院 生命医科学研究科)



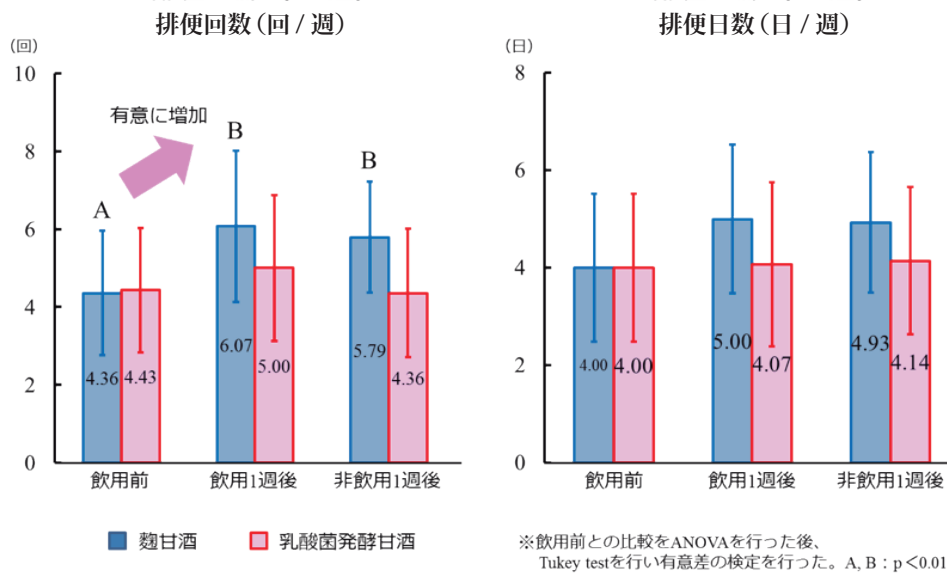


図1. 被験者の排便回数と排便日数

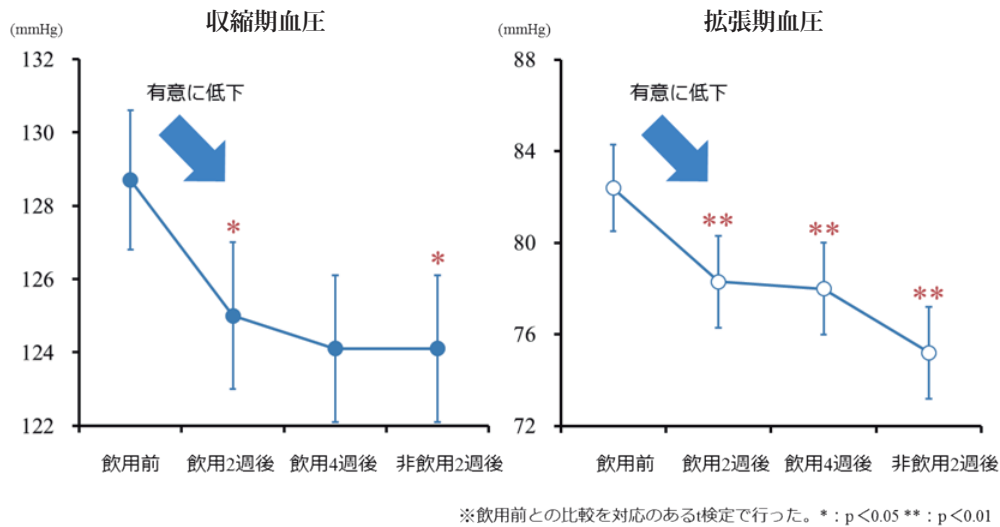


図2. 麴甘酒過剰摂取における血圧の推移

※1 HbA1c(NGSP)基準値 4.6%~6.2%

※2 糖尿病・透析患者様等持病をお持ちの方の実際の飲用にあたっては、主治医またはかかりつけ医へのご相談をお勧めいたします。

このリリースに関する問い合わせ先

株式会社 八海山 広報担当: 浜崎 東京都中央区築地 4-5-9 築地安田第2ビル3階
TEL 03-6264-3366 FAX 03-6264-3367

